

東京農業大学 vs 神奈川大学

11月17日(日)
11:30K.O.
三ツ沢

2連敗中の5位・東農大と、3連勝中の6位・神大との対戦。連勝で6位に浮上した神大は、5位まで勝点1差に迫った。チーム状態は対照的だけに逆転はあるか。

東農大は前節、平国大と対戦し0-1で敗れた。これで2連敗、そして3試合連続無得点の状態が続いている。平国大戦はお互い決め手を欠く前半で、後半に入り58分にセットプレーからこぼれ球を押し込まれ失点。後半からはFW相川優介(3年)が交代出場して雰囲気が変わりかけたが、なかなか前線にボールが入らずシュートまで持ち込めなかった。「セットプレーで集中が切れて失点したのはもったいなかった。ミスが多くポジションでも相手にやられた部分が多かった」(秋吉保浩監督)。しかし守備面は崩壊しているわけではない。神大の攻撃をしっかりと抑えられれば勝機はある。

その神大は前節、法大に4-2と快勝、3連勝で順位を一つ上げた。上位グループに入ったばかりか、3位までも勝点3差に迫ってきた。法大戦は、お互いに出方を探るような前半の展開のなかでMF須郷智広(4年)がドリブルシュートを決め先制。後半は動きが激しくなり一時は同点とされたが、MF芦野翔斗(3年)のミドルシュートで勝ち越すとペースをつかんだ。後半ロスタイ

ムに失点したことについては「最後、しっかりとゲームを締められなかったことは反省。次に向けての課題」(高峯弘樹監督)としながらも、得点を奪えていることは明るい材料。攻めたあとの守備への切り替えに注意し、4連勝を狙いたい。

<出場停止>杉山祐亮(神大) / 3回警告: 櫻岡徹也・佐々木翼・加藤聖哉・中垣内優太(東農大)、秋山真太郎・武田将平・内野淳(神大)

<前回の対戦>東農大1-3神大

東農大		神大	
27. 加藤	11. 井上	22. 伏木	7. 長野
5. 櫻岡	10. 浜田	14. 芦野	4. 向山
21. 松尾	14. 石川	28. 武田	1. 阿部
	8. 佐々木		
	6. 中垣内	16. 前田	
3. 田村	18. 今野	29. 野路	26. 内野
		8. 須郷	2. 柿崎
23. 中西			

東京国際大学 vs 関東学院大学

11月17日(日)
11:30K.O.
BMWス

首位の東国大と、3位の関学大との対戦。上位2チームが決まってしまったため、関学大は3位をキープするため勝利がほしい。優勝を狙う東国大は、もしも前日の試合で駒大が敗れていた場合、この試合で勝てば優勝が決まる。駒大が引き分け以上であれば、勝って最終節の直接対決を優位に導きたい。

その東国大は前節、東学大と対戦してスコアレスドローに終わった。やや引き気味に布陣を敷いてきた東学大に対して攻め切れなかったという印象があるが、9本のCKを含むセットプレーをモノにできなかったことは前田秀樹監督も課題に挙げた。一方、後半に与えたPKという最大のピンチはGK今野太祐(3年)が見事にストップ。勝点1をもぎ取ったと言える。「うちは堅い守備が売りだから、失点をしないことが試合運びとしてはよかった」(前田監督)。関東2部初挑戦初優勝まであと少し。駒大との一騎打ちの前に、3位の関学大にしっかりと勝利を収めたい。

その関学大だが、前節は10位の朝鮮大と対戦して1-1の引き分けに終わった。64分にFKで先制したが、69分に同点弾を許した。残留を争う朝鮮大を崩し切れない結果に終わったが、石村大監督は「今季ワーストの

ゲーム。うまくいかないゲームであっても、走ることや戦うこと、コミュニケーションは取り続けなければならない」と厳しかった。昇格の望みが断たれた影響も少なからずあったかもしれない。しかし今節は昇格を決め、優勝を争う東国大が相手。内容と結果の伴う試合運びを期待したい。

<出場停止>なし / 3回警告: 加藤龍治・若井祥吾・阿部正紀(東国大)、久保海都(関学大)

<前回の対戦>東国大4-1関学大

東国大		関学大	
22. 新地	17. 小玉	13. 吉田	8. 山本
5. 川島	10. 若井	9. 富樫	27. 原島
21. 今野		3. 土館	21. 井田
		7. 太田	
	14. 上船	11. 萱沼	4. 久保
3. 阿部	11. 高橋	24. 普光院	
		2. 吉田	
2. 伊東			

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています *

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2013-NO.21
編集: 五味亜矢子 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ



東国大、駒大ともドロー!

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは、残り 2 節の戦い。焦点は優勝争い、そしてあと 1 枠の残留チーム争いに絞られた。まず優勝争いは、その前の節で昇格を決めた首位の東国大が東学大と 0-0 で引き分け勝点 1 にとどまったが、翌日、勝点 1 差の 2 位の駒大も青学大と 1-1 で引き分け逆転はならず。今節は東国大が関学大、駒大が東学大と、ともに前回は 4 点を奪って勝っている相手と対戦。東国大が勝って駒大が敗れると優勝が決まるが、最終節の直接対決まで持ち込むことになるか注目が集まる。

一方の降格争いは数字上、4 チームに可能性がある。まず、拓大が 5-0 で東海大を破り、朝鮮大は関学大と 1-1 で引き分けたことで拓大が降格圏を脱出した。また、平国大が東農大を 1-0 で破り降格

得点ランキング		アシストランキング	
13: 小牟田洋佑(駒大)	伊東 純也(神大)	7: 佐伯 拓磨(東国大)	碓井 鉄平(駒大)
11: 福島 遼(東国大)	関谷 祐(青学大)	6: 志 龍太郎(青学大)	長野 祐太(神大)
10: 富樫 敬真(関学大)	9: 内野 裕太(拓大)	5: 上船 利徳(東国大)	加藤 龍治(")
8: 各 3 名			田中 雄一(駒大)
			今野 順(東農大)
			松田 有平(法大)

回避に大手、神大に 2-4 で敗れた法大がピンチに陥った。今節、法大と拓大の対戦が大きなカギを握る。ラスト 2 ゲーム、各チームはどのような戦いを見せてくれるだろうか!?

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第 20 節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	関学大	青学大	東農大	神大	東学大	平国大	法大	拓大	朝鮮大	東海大	勝数	負数	分点	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大		100	401	302	102	100	201	1Δ1	400	301	201	300(没収)	13	2	5	44	17	27	44
2	駒大	001		200	401	302	401	402	304	200	200	102	401	13	3	4	43	21	22	43
3	関学大	104	002		1Δ1	1Δ1	200	100	11/16	1Δ1	4Δ4	201	200	9	6	5	34	26	8	32
4	青学大	104	002	1Δ1		100	203	1Δ1	401	103	2Δ2	1Δ1	201	9	6	5	31	27	4	32
5	東農大	203	104	0Δ0		1Δ1	201	100	0Δ0	401	100	102	201	9	6	5	31	27	4	32
6	神大	005	1Δ1	青学大G		102	201	001	400	503	2Δ2	11/16	200	9	8	3	28	24	4	30
7	東学大	201	203	300	1Δ1		103	102	103	100	200	1Δ1	300(没収)	9	8	3	28	24	4	30
8	平国大	0Δ0	002	001	201		11/17	11/23	001	003	201	301	300	9	9	2	37	35	2	29
9	法大	2Δ2	001	302	102	三ツ沢		201	11/23	402	2Δ2	401	100	7	6	7	25	26	-1	28
10	拓大	102	204	004	001	201	302		301	001	201	200	201	7	6	7	25	26	-1	28
11	朝鮮大	0Δ0	東海大G	1Δ1	100	東国大G	102		2Δ2	1Δ1	1Δ1	0Δ0	1Δ1	6	8	6	24	36	-12	24
12	東海大	004	002	102	104	001	201	100	1Δ1		102	001	402	6	9	5	33	36	-3	23
		601	4Δ4	301	305	300	204	1Δ1	0Δ0		11/16	0Δ0	11/23	5	10	5	31	32	-1	20
		103	002	102	001	002	502	102	203	201		100	301	5	10	5	31	32	-1	20
		0Δ0	102	2Δ2	2Δ2	102	2Δ2	1Δ1	102	古河		11/23	500	5	11	4	18	33	-15	19
		102	201	004	201	1Δ1	102	002	001	100	001		401	5	11	4	18	33	-15	19
		005	002	1Δ1	たつこの	103	104	0Δ0	200	0Δ0	青学大G		102	5	11	4	18	33	-15	19
		003(没収)	104	003(没収)	102	003(没収)	201	102	302	204	103	104		3	16	1	16	51	-35	10
		004	001	102	002	003	001	1Δ1	東海大G	法大G	005	201								

※ 白抜き順位は確定。東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

青山学院大学 VS 朝鮮大学校

11月16日(土)
11:30K.O.
たつのこ

4位の青学大と、11位の朝鮮大との対戦。青学大は昇格の可能性が潰えてしまったが、朝鮮大は残留がかかる重要な試合。もしも敗れて、同時刻他会場開催の拓大が勝利すれば、降格が決まってしまう。引き分けでも非常に厳しい状況であり、今節は背水の陣だ。

青学大は前節、駒大と対戦して0-0のスコアレスドローに終わった。その前の試合で5失点と大敗を喫しただけに、ディフェンス面での意識は高く、最終ラインはパワフルな駒大攻撃陣に対して粘り強い守備を見せた。しかし、攻撃面ではボール保持の時間が長いながらシュートが多くないという、決定力不足の課題が露出。「縦に突破するタイミングがなかったり、真ん中にボールが集まり過ぎてサイドに展開ができなかった」(宮崎純一監督)。本来はアグレッシブな攻撃を身上とするチームだけに、先制攻撃が得点につながればよいが、今節は残留を争う朝鮮大が相手だけに守備の注意も必要だ。

その朝鮮大は前節、関学大と1-1で引き分けた。強風の中での試合となり、シュート数も7-7と互角。前半は相手のショートパスを中盤で奪ってカウンターにつなげるという形がいくつか決まったが、相手GKの好守もあって無得点。後半は風下で苦しい時間帯が続き、FK

がDFに当たって不運な先制点を与えたが、その4分後に交代出場した2人の選手が絡んですぐに同点とした。「この粘りを次節につなげたい。うちは少ないチャンスをしっかりモノにできるよう攻撃の精度を改善したい」(金載東監督)。残留に向け、まずは自分たちが勝利することが第一だ。

<出場停止>京谷季樹(青学大) / 3回警告:水島雅之・伊藤光輝・服部真矢(青学大)、康貴成(朝鮮大)

<前回の対戦>青学大1-2朝鮮大

青学大	朝鮮大
20. 服部	22. 慎鏞紀
16. 恵	24. 鄭仕輝
25. 御牧	9. 高尚人
10. 木澤	3. 李教俊
12. 高橋	14. 朴利基
34. 井端	8. 後藤
8. 後藤	28. 金成大
14. 伊藤	6. 任良太
15. 水島	20. 金慎也
7. 荒木	4. 許亮
3. 早田	17. 高志煌
	2. 李永照

平成国際大学 VS 東海大学

11月16日(土)
11:30K.O.
東海大G

8位に浮上した平国大と、最下位が決まっている東海大との対戦。平国大は限りなく降格回避に近づいたが、今節でそれを確実のものにしたい。東海大は来季に向けての明るい材料を見つけない。

平国大は前節、東農大に1-0で勝利して貴重な勝点3をゲット、2連勝で降格圏を突き放した。今節勝利で2年連続の残留を決めることになる。東農大戦は、その前の試合で拓大との残留争い「直接対決」を制したこともあって、「一つ山を越えて、それと同じモチベーションで臨めるかというのが一番大きかった」(西川誠太監督)という課題があったが、特にCB2人を中心とした守備の集中力が素晴らしかった。試合の立ち上がりこそ、相手FWやサイドアタッカーの動きをつかまえ切れていなかったが、すぐに運動量で上回ってシュートを未然に防いだ。得点は泥臭かったが、重要なのは勝点3。今節で決めることができるかどうか。

対する東海大は前節、後半戦の取り組みの中で中心選手となりつつあった選手2人が出場停止となり、残留争いの渦中にある拓大に0-5と大敗してしまった。立ち上がりこそ、前線への長いボールを多用して一進一退の争いに持ち込んでいたが、37分に先制点を許してから

は拓大の勢いに押されるようになり、前半終了間際にもセットプレーから失点。後半は一方的な展開となってしまった。これには後藤太郎監督も「力負け。スコア通りに力の差が出てしまった」と認めるしかなかった。今節も降格回避を目論む平国大が相手となるが、まずは自分たちの良さを出せるかどうかが課題だ。

<出場停止>なし / 3回警告:鎌田秀平・本田圭佑(平国大)、永吉惇起・元田涼介・佐藤元紀(東海大)

<前回の対戦>平国大2-3東海大

平国大	東海大
16. 増田	36. 高橋
34. 佐藤	27. 北原
2. 須藤	3. 小山
6. 本田	5. 元田
21. 荒川	16. 寺尾
36. 柏俣	41. 中西
9. 星子	2. 太田代
5. 鎌田	35. 岩壁
26. 小松崎	26. 小野
19. 堀越	8. 梶原
13. 竹内	

拓殖大学 VS 法政大学

11月16日(土)
11:30K.O.
古河

10位の拓大と9位の法大、勝点3差の対戦。拓大が勝って、同時刻他会場11位の朝鮮大が敗れば残留争いに終止符が打たれるが、朝鮮大の結果によっては最終節にもつれ込むことになる。法大は、今節勝利すれば降格を回避する。生き残りを賭けた重要な一戦だ。

10位の拓大は前節、東海大に5-0で勝利した。シュート数も15-4と圧倒。後半戦初戦で同じく東海大に勝って以来の久々の勝利は、残留への気合いを示した5得点であった。先制点を奪うまでは、ピッチの荒さもあってか攻めあぐねていたが、37分に今季初スタメンのFW森川穰(1年)が待望のゴール。続いて、前半ロスタイムにセットプレーから追加点を奪ったのが大きく、完全にムードを自分たちのものにし、FW森川は3得点の活躍を見せた。「勝点3がどうしても必要だった。勝ったことは評価できるし、失点0に抑えられたこともよかった」(玉井朗監督)。得点の感覚を思い出せたのは光明。勝って立場を優位にしたい。

一方の法大は、神大と対戦し2-4で敗れた。ビルドアップの時点でミスが多く、相手ゴールに迫れないうち20分に先制点を許す。55分に追い付いたものの、63分にミドルシュートから勝ち越しを許すと主導権は神大に

傾いてしまった。「1対1の対応、ミドルシュートへの対応ができていなかった」(大石和孝監督)。これで2引き分けをはさんで4試合勝利がなく、9位まで後退し、この終盤にきて残留争いに巻き込まれてしまった。同じく残留を争う拓大とは、非常に戦いにくい面もあるだろう。打ち合いになる可能性もあるが、冷静に試合を運びたい。

<出場停止>なし / 3回警告:星雄次・森保翔平(法大)

<前回の対戦>拓大2-1法大

拓大	法大
18. 大森	17. 森保
16. 長沢	11. 清水
3. 丸山	14. 松本
19. 菅能	2. 宗近
21. 小林	5. 岩淵
41. 森川	1. 四宮
11. 内野	
20. 片	6. 星
4. 金子	15. 高橋
39. 木野	16. 松田
27. 谷川	30. 永戸
	27. 田代

駒澤大学 VS 東京学芸大学

11月16日(土)
13:50K.O.
東海大G

優勝を狙う駒大と、7位に後退してしまった東学大との対戦。駒大は、敗ればその時点で優勝の可能性が潰える。東学大は、1部からの降格1年目、下位グループで終えるわけにはいかない。

駒大は前節、青学大と対戦してスコアレスドローに終わった。序盤は青学大に中盤でボールを持たれたが、守備で粘り強く対応。攻撃ではなかなかボールを前線に収めることができず苦戦したが、後半は選手交代から突破口を開きチャンスをつくり出した。しかし、13本というCKのチャンスも生かせず無得点。前日の試合で首位の東国大が引き分けていたが、「昇格できるという気の緩みが多少あったと思う」(秋田浩一監督)というように、微妙な精神面の影響があったようだ。「1つの目標は達成できたが、もう1つの“優勝”という目標は達成できていない。残りの2試合を頑張ってから喜びたい」(秋田監督)。優勝争いを最終節まで持ち込めるか。

対する東学大は前節、東国大と対戦してスコアレスドロー。こちらも昇格を決めた東国大に対し、その攻撃を抑えて勝点1をゲットした。しかし、「自分たちのプレスの位置を少し低くした状況でのブロックからカウンターを狙っていた」(西園聡史監督)という戦法を選択し

てリスクは減らしたが、攻撃でもあまりチャンスをつくれなかった。「DFから運びながらつなげる判断はできた。あとはどうシュートまでかわっていくか」(西園監督)。本来はもっと上の順位を狙っていた東学大だが、後半戦実に7つのドローに苦しめられた。最後に、優勝を争う2チームを苦しめることができるかどうか。<出場停止>なし / 3回警告:田中雄一・伊藤慎人・碓井鉄平・大木暁・平野篤志・キム デセン(駒大)

<前回の対戦>駒大4-2東学大

駒大	東学大
3. 田中	20. 京田
11. 小牧	14. 佐藤
5. 伊藤	11. 遠藤
6. 若山	3. 成田
9. 小牟田	15. 菅
8. 畦地	12. 須賀
7. 碓井	10. 茶島
4. 平尾	13. 中村
17. 平野	4. 脇本
13. 大木	25. 富澤
	2. 大里